

佐貫小学校区の地域住民の方への説明会での質疑

期日：令和6年8月28日（水） 場所：佐貫小学校図書室

出席者 高橋市長 岡根教育長 中山教育部長 細谷学校教育課長 大畑主幹
菰田指導主事 森田係長 スクールバス運行会社2名
保護者：21名

高橋市長の挨拶

前回、7月23日にここ佐貫小学校で学校再配置についての説明をさせていただいた際に、改めて説明会を開催してほしいとの声をいただきました。

前回もお話をさせていただきましたが、学校の再配置につきましては、私自身も市長として、子供たちの将来を希望あふれるものとするために、一定規模の集団の中で活動することを通して、子供たちに生きる力を育む教育環境を整備したいという教育委員会の思いを強く受け止め、また私自身も同様の考えを持っているため、そのための交通手段等の整備については十分配慮しながら進めてまいりたいと思っております。

この後、再配置についてご説明申し上げますけれども、地域の皆様のご意見やご要望を十分お聞きしながら進めてまいりますので、ぜひとも再配置へのご理解をいただきますようお願いを申し上げます。

富津市教育委員会岡根教育長の挨拶

先ほど市長の方からもありましたが、本説明会については7月23日に説明会を行ったわけですが、再度説明会を行った方がよいということで、今日2回目の佐貫小学校区の地域の方への説明会を行わせていただきます。

前回のご質問の答えについては、各戸配布の回覧でご承知かと思いますが、再度ご報告をさせていただき、ご理解をいただきたいと思っております。学校再配置は先ほど市長のお話にありましたように、極めて少人数の学校が見られることから、同学年の児童の社会性、友人関係、対応力を育てていくことが、これから生きる上で大切な力となると考え、教育環境の整備のために、保護者の皆様のご理解を得て進めてまいりたいと考えております。

ぜひとも、地域の住民の皆様にもご理解いただけますようお願い申し上げまして、よろしくお願ひしたいと思っております。

意見・質問・回答 等

※回答(A)については説明会当日のものに、その後確認した内容を加えてあります。

Q1：（スクールバスの補助員について）

前回の説明会で、バスの運転手と補助員の2人をつけてほしいと要望しました。

A1： 前回の会議録において、「月に1回程度、スクールバスに市教育委員会の職員が同乗し、安全面について確認いたします。また、年度初めには、学校の協力も得て、スクールバスに職員が同乗し、安全運行と子供たちの降車場所の確認等を行います。」と回答させていただきました。

現在はスクールバスに運転手の他の補助については、乗車しておりません。その代わり、試乗会を実施させていただいて、新入生をはじめ安全に乗れるというような練習をし、スクールバスに乗れるようにというような形を取らせていただきました。

Q2-1（通学路の安全対策について）

大貫小学校の小学校のグラウンドまわりの安全対策はどのように行われるのでしょうか。

A2-1 通学路安全点検を実施し、対策を講じております。また、ご指摘のあった大貫小学校の当該箇所については、市役所の関係部局と安全確保について検討

していきます。その後、説明会の後にご指摘のあった箇所を含め、市道の管理担当課と現地の確認を行いました。そして、学校および地元区長とも協議をし、整備を進めます。

この整備ができるまでの間、子供たちのため、安全確保のため、学校敷地へ入るルート、これを変更することも含め考えております。また、ご指摘にロープを張ってある箇所があるということもありました。こちらの箇所についても、転落防止について対応を進めます。

Q2-2 富津市全体の通学路安全対策について、どの程度改善されたのでしょうか。

A2-2 富津市全体の通学路の安全対策について、令和4年度の時に改善要望のあったものは49件で、このうち37件（76％）に対して対応ができました。12件対応ができなかったもののうち9件、すぐには対応することが難しいものでした。これについては、児童の安全教育を徹底し、別のルートを考えるということで対応いたしました。残りの3件は翌年度にまた繰越ししております。繰越ししたものについては順次対応を済ませております。令和5年度は要望が37件中、27件対応いたしました。こちらは73％の実施率です。

残りの10件のうち、6件が先ほどと同様、安全教育等で代替しております。残りの4件についてはまた今年度対応を図っていくということになっております。

Q3：（学校再配置の時期について）

佐貫中学校と大貫中学校の学校再配置の時に、佐貫小学校の再配置を行わなかったのは、佐貫中学校と同時に学校再配置を行うと、地域からの反発が大きいと見え、再配置の時期をずらしたのではないのでしょうか。

A3： 中学校では学年2クラスを担保できるような形を取りたいと考え、佐貫中学校、大貫中学校の再配置、天羽東中学校と天羽中学校の再配置を行いました。そのときは、佐貫小学校は、小学校の再配置の基準である複式学級にはなっていないませんでした。ですから、その段階では、再配置を進めませんでした。佐貫小学校については、「平成33年（令和3年）に2つの学年が、平成35年（令和5年）には4つの学年が複式学級の開設の可能性があります。」ということも、先に述べた学校再配置計画に書いております。

（スクールバスについて）

Q4-1 スクールバスの朝の運転手はどのような行動してるのでしょうか。

A4-1 毎日出発前に、運転手同士でアルコールチェックや、体調不良について確認を行っております。もし体調不良の時などは、代務者が交代します。

Q4-2 バス会社に朝何人出勤して、バス何台ありますか。

A4-2 大佐和地区についてマイクロバスが2台で運行しています。専従運転手の2名が出勤します。代務運転手は3名です。

Q4-3 アルコールチェックの機械は何年ぐらい使っていますか。

A4-3 富津市から提供されている機械を使用し、1年に1回更新しています。チェックシートは月ごとに市に提出をしております。

Q4-4 朝の業務（登校時）が終わり、夕方の業務（下校時）までの間、運転者は家

に帰るのでしょうか。

A4-4 帰る時もありますし、登校時と下校時の業務の間で、校外学習などの運転をすることもあります。

Q4-5 夕方運転する前にはアルコールチェックしていますか。運転する前と、運転の終わった後のチェックはしないのでしょうか。

A4-5 まず、朝の始業前にはチェックをします。1日の業務が終了した際にもチェックをしています。

Q4-6 アルコールチェックの方法として運転手同士で行っているようですが、本来であれば、運転手以外の事務員がチェックしなければいけないと思います。また、用紙で残るようなものを提出する形でなければ、証拠として残らないのではないのでしょうか。

A4-6 安全に努めて、市教育委員会とバス運行委託業者で協議し、アルコールチェックと報告を行っています。チェックシートは月ごとに市に提出をしています。

Q4-7 運転手は後方に乗ってる子供の確認をしますか。乗っている人を感知する装置はついていませんか。

A4-7 装置はついておりません。運行が終わった時に、運転手が後方の座席までいづし、確認します。椅子の下も確認します。

Q5-1 (小規模特認校について)

現在の児童数と6年後の児童数の予測から、吉野小学校は121人が58人に、大貫小学校は162人が84人に減ります。佐貫小学校は人数は少ないですが、これから人数が増えていきます。佐貫小学校の学校再配置を行うのはなぜでしょうか。

また、佐貫小学校を小規模特認校に考えていない理由を教えてください。

A5-1 複数の複式学級を解消していきたい。これから児童数が増えても、佐貫小学校が極めて少ない人数であることから、学校再配置を進めさせていただければと考えています。

小規模特認校のあり方として、学校を存続させるための方法であり、富津市内の全体から児童を集めて学校を存続させるという考え方です。佐貫小学校と大貫小学校を再配置をすれば、その教育環境、児童数を保てると判断しているので、小規模特認校については考えておりません。

Q5-2 中央公民館で実施している、さわやか教室を佐貫小学校に移すことはできないのでしょうか。

A5-2 どこでさわやか教室を実施することが一番子供たちにとっていいのかというのは常に検討しているところですので、一つの案として佐貫小学校にということも考えられるのではないかと思います。

基本的にさわやか教室には、学校に通うことができない子供たちが登室しています。仮に小規模特認校にして、さわやか教室の子供たちを通わせればというのは、難しいだろうと思います。

Q6 : (吉野小学校との再配置について)

佐貫保育所が再配置になった場合、佐貫保育所の子供が吉野保育所に行くという話を聞きました。その場合、保育所の関係から大貫小学校との再配置で

はなく、吉野小学校との再配置であつてもと思います。吉野保育所の子供たちと一緒に吉野小学校へ行った方が、子供のためだと思います。

A6: 希望する保育所に申し込みをしていただきますので、佐貫保育所がなくなったとしても、「市として吉野保育所に行ってください」というようなことはありません。

Q7: (人口流出について)

学校再配置として、新しい学校をつくるということについて、丁寧に取り組んでほしいと思います。2つお願いがあります。

1つ目として学区が広がることで教育的には財産が大きくなるため、有効に活用できるようにしてほしいです。

2つ目として、発信をもっとしっかりとして欲しいということです。

A7: 魅力ある学校づくりということと、インパクトのある発信というところで、学校も含めて進めていきたいと思います。

意見 (市としての取組について)

市に転入してくる家族が多ければ、市民税が市に入ります。佐貫の中学校がなくなり、それから小学校がなくなったとして、2つともなくなると、まずその区は半永久的に人口は増えないだろうと思います。寂れていくことを待つしかない。未来に対してのこの前向きなイメージがない状態になるという、佐貫小学校の再配置と考えたくないです。夢も希望ももてる取組を市として行ってほしいと思います。

Q8: (説明会について)

説明会というのは、そちら側で決まったことを私たちに納得させるだけの一方通行の場だと感じています。

少数の学校をしっかりと残して、レベルの高い学校を作るとか。他で成功しているような授業を勉強に行つて、それを反映させるようなことを行っているのでしょうか。

再配置ではない対応について検討しているように感じ取れません。

A8: やはり学級に子供たちがある程度人数がいて、一緒になって意見交換をしたり、様々な意見の中で自分の生き方を見出していくという時間、これが極めて大切な成長の時間だと思っています。この子供たちの教育環境をどう改善するかと第一に考え、再配置を進めています。

子供たちにより多くの様々な経験ができる体制の学校を作りたいという思いを持っています。

意見 大勢の中で子供を置いておきたいというのは、私だって同じです。けれども、それを乗り越えられるだけの何か素晴らしいものを作ろうっていう、そういう提案もないまま、子供が少ないんだから再配置しましょうという方向に流れてしまっている。そのような一市民の気持ちがあるって事はご理解いただきたいと思います。

Q9-1 (メリットや課題について)

再配置をすることで生まれるデメリット以上のメリットはどのくらいあるのかが知りたいです。

A9-1 少人数、極めて少ない人数の環境を改善し、ある程度の集団で生活する中で、多様な意見に触れたり体験をしたりすることを通して、学びを深め、社会性を身につけることができます。

Q9-2 再配置によって考えられる問題を再配置する前後にどのように解決していくのでしょうか

A9-2 再配置の前にお互いのことを知るための交流会を行うとともに、代表部会、PTA等部会、学校教職員部会の3つの部会により検討を重ね、対応していきます。

Q9-3 スクールバスについての問題をどのように解決していくのでしょうか。

A9-3 再配置の前にスクールバスの試乗会を行ったり、意見を聞いたりというところで、どのような運行、どのような停留所、どのような時間がいいかというところを伺い計画していきたいと思います。

意見 またこういう場面を何回かとってもらえると思いますけれど、その時までには他の問題が出てきたら聞きたいと思います。

Q10 (進捗状況の周知について)

-1 今後、再配置にあたっていろいろな諸問題が出てます。再配置が決定して小学校が一緒になった時に、問題がどの程度解決できるのか、進捗状況を具体的に教えてください。

A10 進捗状況について、地区回覧を通してお伝えしたいと思います。

-1

Q10 中学校の体育館の完成までは、小学校の体育館を使うのでしょうか、いつ完成するかについて知らせてほしいです。

A10 子供たちの安全のために、新しい体育館を旧社会体育館の跡地に今はまだ設計をしている段階ですが、設計が終わり次第着工をしまいいります。令和8年1月の完成を目指しています。

進捗状況について、地区回覧を通してお伝えしたいと思います。

意見 進捗状況の回覧等行うことはできます。

Q11: (今後の学校再配置について)

佐貫中学校がなくなって、佐貫小学校もなくなって、佐貫保育所もなくなるかもしれないという状況では、今後佐貫小学校に入る児童数も、今の予想よりももっと少なくなってしまうかもしれません。

暗い話ばかりでこの地区に明るい話はないのでしょうか。

大貫小学校も吉野小学校も児童数はどんどん減り、佐貫小学校と大貫小学校が一緒になって、10年後などに、吉野小学校と一緒になるのでしょうか。

学校は地域に根差した一つの拠点だと思えますが、10年ごとにその拠点がなくなって一緒にすることは、おかしいと思います。

佐貫小学校も大貫小学校も吉野小学校も一緒にという話はなかったのでしょうか。

学校をどんどん再配置していくというよりも、もっと長い目で見て計画を作った方がよいと思います。

A11: 湊にある警察署を富津の真ん中である佐貫に作って欲しいという希望を伺いながら、今建設が進んでいます。

そして、この地域の大きな可能性というのは、富津中央インターに非常に近いということに活路を見出せるのではないかと感じています。

そして、やはりこの地域、例えば新舞子の海岸のところであったり、また山

の方に行けばマザー牧場もあります。この地域の魅力を感じていただいて、まずは街に人が歩くような環境を作っていくことが大切だと思います。

現在の吉野小学校や大貫小学校は、複式学級はありません。基本的には複式学級がいくつかでき、子供たちの数が少なくなっている状況の中で、再配置について検討をさせていただけますか、という形で、保護者の皆さんにお話を申し上げているため、吉野小学校につきましては、今回、再配置の対象とはしませんでした。

Q12 (議会について)

-1 議会で決定したことなのでしょうか。

意見 議会で「こういう方向性であります」という説明はいただいております。議員としても当然執行部との話し合いは行っています。

いろいろと皆さんのご意見もあると思いますが、説明会での意見は、執行部は持ち帰って、きちんと精査した上で、対応しています。一例にあげれば大貫小学校の子供たちとの交流を行っています。

マイナスの意見について、補っていくために、教育機関と保護者とが連携していく先に、問題の解決ってのは見出せるのではないかと、思っています。

Q12 議会は通ってないってことでしょうか。

-2 学校の再配置に関して、どの学校にどの学区をと決めるために条例改正があります。それは、このような話し合いが、概ね整った段階で議会にかけます。

A12 その時に議員の皆さん方の判断が最終的なものです。今の進捗状況について、議員の皆さんにしっかりと話をし、また意見を伺うような機会を設けてくれということで、議会の皆さん方には説明をしている状況です。議会としてもう決まったことだからというものではありません。

Q12 議会通ったらまた説明会ったのはあるのでしょうか。

-3 最終的には議会で議決された内容については、議会の報告という形になりますので、説明会の実施について考えておりません。

-3

Q12 再配置計画に関しては議会で承認を得ていますというのは、どういうことでしょうか。

A12 平成30年の3月にまとめた、富津市小中学校再配置計画基本方針については議会にもご説明してご了承を得ています。

Q12 その段階で、佐貫小学校と大貫小学校が一緒になるという計画を、承認されてるといっていいのでしょうか。

A12 この富津市小中学校再配置計画基本方針の中で、佐貫小学校についても検討していく必要があります、ということで、記載しております。

全体

今後、学校再配置を進めさせていただきたいと思っております。また、皆様からいただきました意見等は、今後検討を重ね、再配置計画に反映していきたいと思っております。

再配置についての進捗状況については、地区回覧で、皆様に報告してまいります。